

# 検証・評価シート

## 北区計画

-平成25年度の取り組み状況-

**「人が集い 安心して暮らせる 魅力あふれる 緑といで湯のまち」**

人と人とのつながりを大切にし、農村地域とニュータウンなど都市部との地域連携・地域交流を促し、人・もの・情報が行き交い、暮らす人・訪れる人など多くの人が集うまちづくりを進めるとともに、広い区域、地形、まちの成り立ちなど、北区の地域特性を考慮したうえで、交通環境の向上など、日常生活における利便性・安全性を高め、子育て世代や高齢者などあらゆる世代が将来にわたって安心して暮らせるまちづくりを進める。

また、北区に数多く残されている名所旧跡や伝統芸能などの歴史文化資源の保存・継承と活用を行い、魅力あふれるまちづくりを進めるとともに、豊かな自然に恵まれた緑のまちであり、環境マナー先進地である北区の美しい環境を、次世代のため守り育てていくほか、全国的に有名な湯のまち「有馬温泉」を、観光をはじめ健康づくりなど様々な分野に活用し、北区の活性化を図っていく。

将来像

目標達成状況

### I. 地域力の向上

評価: 顕著な成果

#### 【主な取り組み状況】

#### (1) 地域内での地域力の向上

- 北区版自治会活動ガイドブックの作成
  - ・各事業の窓口や助成制度について、実際に制度を活用した自治会長などの声を交えて紹介する「北区発！快適なまちづくり応援BOOK」を作成し、各自治会長等に配付した。
- 災害直後の要援護者支援による地域力の再構築
  - ・災害直後に要援護者を地域で支援するための仕組みづくりとして、大原桂木地区では要援護者支援の仕組みを取り入れた北区総合防災訓練を実施した。また、道場町では防災ワークショップの開催などを行い、市から地域へ要援護者情報を提供する段階まで取り組みが進んだ。

#### (2) 地域間の連携による地域力の向上

- 地域間交流活動
  - ・新旧住民交流などのため、神戸リサーチパークまちづくりクラブでは広報誌「まちふれんず」、有野地区の交流では広報誌「ありの」を発行した。
- 地域主体の特徴的な活動
  - ・助成制度等を活用し、地域団体等が主体となって地域活動の活性化に取り組んだ。主な活動例では、北区南部の8校の中学校では生徒会を通じての東北支援として「チャリティリレーマラソン」を開催した。また、上上津自治会では野菜朝市「鮮菜フレンズ市場」による新旧住民交流活動が行われた。

#### (3) 地域力の向上を支える体制づくり

- 北区誕生40周年記念事業
  - ・区民が中心となって、北区誕生40周年を祝うため、記念式典・パネル写真展を開催したほか、北区誕生40周年頑張る活動助成として各地域でそれぞれの歴史などを紹介する14団体の活動に助成を行った。
- 中学生の地域参加
  - ・地域福祉活動への理解を深めるため、ふれあいのまちづくり協議会での「トライやるウィーク」に参加した中学生自らが事業を企画・実施した。
- 協働による地域課題解決支援事業
  - ・大沢町、八多町、淡河町での交通不便地域における生活交通の確保や、中里町での通学路の交通安全対策などの地域だけでは解決できない地域課題に協働で取り組んだ。

#### 【総評】

助成制度などを紹介するガイドブックを作成・配布し、自治会活動の支援を行ったほか災害直後の要援護者支援に取り組む地域がでてきた。また、地域主体での地域間交流活動や中学生による地域参加の取り組みがあった。

平成26年度は引き続き災害直後の要援護者支援体制づくりや地域による主体的な活動を支援するほか、地域とともに鈴蘭台駅前の活性化や交通問題などに取り組む、地域力の向上を図る。

【主な取り組み状況】

**(1) 自然や歴史とのふれあい**

○農村歌舞伎上演会の開催

・上谷上農村歌舞伎舞台で歌舞伎上演会を開催した。上演会では、歌舞伎の上演のほか、舞台装置の実演や農村舞台に関する講演を合わせて実施した。

○都市との交流プロジェクト

・大沢町では不耕作地の活用などにより、都市と農村の交流を図るイベントを開催。どろんこバレー神戸大会、おおぞうふれあいコメづくり広場、おおぞうふれあいエコハイキングなどを実施した。

**(2) 農の活用**

○おいしい大沢産農産物プロジェクト

・こうべまちづくり会館でPRパネル展、農産物直売を実施した。また、新たなブランド育成として、とうもろこし・トマト・筍などの新規作付け・拡大を行ったほか、縮みほうれん草の先進地視察を行い、町内での作付けを開始した。

○特定外来生物および有害鳥獣対策

・防除計画に基づきアライグマやイノシシなどの捕獲、啓発資材の配布を行ったほか、鳥獣被害防止対策協議会により今年度からイノシシ等侵入防止柵の設置補助、農家向けアライグマ等捕獲技術研修を実施した。

**(3) 観光資源の活用**

○茅葺きとのふれあい・情報発信

・北区の魅力である茅葺きを体験してもらい、情報発信するため、『茅葺き屋根とふれあう月間2013』として茅葺き民家を活用したコンサートや土壁塗り体験などのイベントを11月を中心に集中的に開催したほか、八多町、淡河町、明石海峡公園で茅刈りイベントなどを行った。

○道の駅淡河のPR推進事業

・道の駅淡河開設10周年を機に、道の駅淡河の10周年記念式典を行い、あわせてふるさとまつりを開催した。あわせてPRパンフレットを作成・配布し道の駅及び淡河町の魅力発信に努めた。

**(4) 情報の発信**

○きたきたまつりの開催

・第40回「きたきたまつり」をフルーツフラワーパークで開催した。

○ホームページの充実

・北区長日記により、区長の日々の活動を通じて地域での活動を紹介したほか、区内の学校の活動を紹介する「スクール通信」のコーナーを新設した。

【総評】

農村歌舞伎上演会や農村体験イベント、新たな農産物育成の取り組みや茅葺きを活用した情報発信など自然や歴史、農、観光資源など北区の魅力を活用した取り組みを進めた。また、ホームページの充実により北区の情報発信に取り組んだ。

平成26年度は、引き続き自然や歴史とのふれあいに取り組むとともに農村人材支援による農の活用、ホームページの充実やマスコットキャラクターの活用による北区の魅力の情報発信の強化を図っていく。

目標達成状況	III. 安全で便利なくらしの実現	評価: 前進	
	<p><b>(1) 便利なまちの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○農村地域における公共交通等の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大沢町・八多町でバス路線維持のため、交通勉強会を開催した。また、大沢町では利用促進のため、バス活用のハイキングマップを作成、八多町ではバス車内での茅葺き絵画コンクール入賞作品の展示などを行った。淡河町では町民ニーズの把握のためのアンケートを実施した。</li> </ul> </li> <li>○路線バスの活性化対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・北区内の一部の市バス路線が民間バスに移譲され、それをうけて地域での取り組みとして有野台地域においては将来に向けたバス路線の活性化を図るため、地域団体、行政、交通事業者での勉強会を開催した。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>(2) 安全なまちの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域防犯交流会、北区民暴力団追放大会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた防犯活動の紹介や情報交換を行う交流会、暴力団追放の機運を高める大会を開催した。25年度より両大会を同時開催とした。</li> </ul> </li> <li>○北区総合防災訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大原・桂木地区において災害時要援護者支援の仕組みを取り入れた訓練を実施した。</li> </ul> </li> <li>○有馬山口バイパスの整備促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・有馬温泉と西宮市山口町を結ぶ幹線道路を整備・供用開始した。</li> </ul> </li> </ul> <p>[総評] 北神の農村地域において、バス路線維持のための勉強会やアンケートを実施するとともに利用促進のための取り組みを行った。また、北区総合防災訓練や防災交流会を実施し、安全・安心なまちづくりを推進した。 平成26年度は、公共交通の確保などの課題に地域と協力して更に取り組むなど安全で便利なくらしの実現を図っていく。</p>		
	IV. 次世代づくり		評価: 顕著な成果
目標達成状況	<p><b>(1) 子どもを育てる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○世代間交流イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で子育てを支援する関係者が集まる交流イベントとして、ありまホールで「わくわくカーニバル」、すずらんホールで「きてきてカーニバル」を開催した。</li> </ul> </li> <li>○高齢者と児童の世代間交流拠点整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の見守りや小さなこどもの居場所づくりに取り組む地域団体、NPO法人ウイズユキたごようがUR鈴蘭台第一団地に「こんべいとう」を、鈴蘭台婦人会、小部婦人会、神戸親和女子大学が鈴蘭台駅前善喜ビルに「すずらんサークル」といった活動拠点を整備した。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>(2) 青少年を育てる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○北区青少年フェスタの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生を中心とした青少年により企画運営される「北区青少年フェスタ」を開催し、青少年を地域で讃える賞表彰式や青少年芸術祭を行った。</li> </ul> </li> <li>○命の感動体験事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生が乳幼児やその保護者とふれあい命の大切さを学ぶ命の感動体験事業を山田小学校、有野東小学校で実施した。</li> </ul> </li> </ul> <p>[総評] 南部・北神それぞれで世代間交流イベントを開催するとともに地域主体で高齢者と児童の世代間交流拠点が整備された。また、青少年の自主的な活動である青少年フェスタにより学校を超えた仲間づくり、地域との交流を図った。 平成26年度は引き続き世代間交流による子育て環境の整備、青少年育成活動充実に取り組むほか、小中学生の若い力による自主的な地域貢献活動、魅力発信活動を支援していく。</p>		
	V. 暮らしの豊かさ		評価: 前進
	VI. 環境・まちづくり		評価: 前進

目標達成状況	V. 健康づくりと福祉の充実	評価: 顕著な成果
	<b>(1)健康づくりの推進</b>	
	<p>○こうべ健康ウォーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩き方教室や健康チェック等を取り入れたウォーキングを開催した。コース途中のポイントでは、地域住民による炊き出しや地元の野菜などの物販も行われた。</li> </ul> <p>○健康づくりリーダー養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりリーダーのフォロー研修や健康運動指導士派遣による活動支援を実施したほか、新規自主活動グループの立ち上げも行われた。</li> </ul>	
	<b>(2)高齢・障害福祉の充実</b>	
<p>○絆サポーターによる高齢者への目配り事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が日々の暮らしの中で目配りを行う絆サポーター活動の対象地域の拡大を行った。また、登録された絆サポーターへの研修会を開催した。</li> </ul> <p>○障害者地域自立支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者に対する理解を深める「ふれあい講演会」や障害者の芸術作品の展示会「ふれあいフェスタ」を開催した。</li> </ul>		
<p>[総評]</p> <p>こうべ健康ウォークなど健康づくりの行事を開催するとともに、地域の自主活動を担う健康づくりリーダーのフォローを行うなど健康づくりの推進に取り組んだ。また、絆サポーターによる高齢者への目配り活動の拡充に取り組むなど地域住民主体の地域福祉活動を支援した。</p> <p>平成26年度は、引き続き健康づくりのための行事や地域福祉活動への支援を行うとともに、絆サポーターの更なる拡充など、地域団体の自主的な活動への支援を行う。</p>		
	VI. 美しいまちの推進	評価: 顕著な成果
	<b>(1)美しいまちづくり</b>	
	<p>○クリーンキャンペーンの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼい捨て防止重点区域に指定されている地域(鈴蘭台駅周辺、有馬、岡場・田尾寺駅周辺、西鈴蘭台駅周辺)でクリーンキャンペーンなどを実施した。</li> </ul> <p>○クリサンセマムストリート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鈴蘭台駅前から北区役所までの「クリサンセマムストリート」で北区連合婦人会が主体で四季折々の花の植え付けや装飾を実施した。</li> </ul>	
	<b>(2)豊かな自然を守り育てる</b>	
<p>○山田川クリーン作戦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「山田川を美しくする会」により山田川の河川流域(大池から衝原湖約13km)と周辺住宅地域における、一斉クリーン作戦を実施した。</li> </ul> <p>○KEMS(神戸マネジメントシステム)への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区役所における各種環境負荷の改善活動を行った。</li> </ul> <p>○「美しいまちを守り、ごみの減量、資源化を推し進める協定」の締結</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協定締結団体の増加と活動推進のための呼びかけを行ったが新たな締結には至らなかった。</li> </ul>		
<b>(3)マナー・モラルの向上</b>		
<p>○リサイクル工房と連携した地域による3R活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北区連合婦人会が「きたECOフォーラム」を開催し、外部講師によるリサイクル活動に関する講演や、開設から1年が経過した「リサイクル工房ほくしん」の活動を紹介した。</li> </ul> <p>○環境ポスター展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「美しいわがまちキャンペーン」の一環として青少年の作成した環境ポスターの展示を行うものでキャンペーン列車の運行や北区民センターや・イオンモール神戸北でポスター展を開催した。</li> </ul>		
<p>[総評]</p> <p>各種クリーン作戦など、地域団体が主体となりまちの美化・啓発に取り組んだ。また、リサイクル工房と連携したきたECOフォーラムにより、3R活動の活性化を図った。</p> <p>平成26年度は、引き続きクリーン作戦の推進や環境意識の啓発に取組み、ごみの減量・資源化や環境マナーの向上などを図っていく。</p>		

指標項目	策定値	23年度評価	24年度評価	25年度評価	ともに目指そう値
		数値	数値	数値	
新たに「地域提案型活動助成」で採択された活動のうち、継続している活動数を平成27年度までに15団体増やす。	—	継続している活動 10件	継続している活動 15件	継続している活動 18件	新たに15件
自治会の新規結成数もしくは連合自治協議会の加入数を平成27年度までに5団体増やす。	(単位自治会数) 377団体 (連合自治協議会 加入数) 236団体	新たに2団体 (H21比+2団体)	新たに0団体 (H21比+2団体)	新たに1団体 (H21比+3団体)	新たに5団体
茅葺き民家を活用したイベントの開催数を平成27年には10回/年開催する。	6回/年	9回/年	11回/年	14回/年	10回/年
区内で受講した市民救命士資格取得者数を平成27年度までに12,000人増やす。	18,053人	新たに3,848人	新たに3,446人 (H21比+9,600人)	新たに1,600人 (H21比+11,200人)	新たに12,000人
北区民暴力団追放大会を毎年継続して開催する。	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年 継続開催
世代間交流事業を平成27年度には30回/年開催する。	18回/年	28回/年	42回/年	41回/年	30回/年
健康づくりリーダーの養成者数を平成27年度までに100人増やす。	400人 (平成22年度)	436人	436人	475人	500人
「美しいまちを守り、ごみの減量、資源化を推し進める協定」を平成27年度には30団体と締結する。	17団体 (平成22年9月)	19団体	20団体	20団体	30団体
地域資源集団回収量(年間1世帯あたり)を平成27年度には165kgに増やす。	135kg	133kg (平成22年度)	128.8kg (平成23年度)	122.1kg (平成24年度)	165kg

まちづくり指標の状況